

ミナミキイロアザミウマの誘引に効果的な粘着トラップの色

○土井誠・片山晴喜・斉藤千温
静岡県農林技術研究所

静岡県の主要野菜である温室メロン栽培において薬剤抵抗性ミナミキイロアザミウマの発生が大きな問題となっており(石川ら,2017)、対策の一つとして色トラップによる大量誘殺について検討している。これまでに本虫誘引に効果的な色(反射光)が明らかにされているが(芳賀ら,2014)、市販の色粘着トラップとの比較はされていない。そこで、芳賀ら(2014)最も誘引数が多いとした色コバルトグリーン(株式会社中川ケミカル製カッティングシート®での色名称)について市販の青色粘着トラップ(ホリバー®ブルー、アリストライフサイエンス(以下ホリバー))との本虫誘殺数を比較した。また、ネギアザミウマに対する誘引性についても調査した。

1 ミナミキイロアザミウマに対するコバルトグリーン粘着トラップの誘引性(試験1)

トラップは、①コバルトグリーン(カッティングシートを対照と同サイズの横10cm×縦25.7cmに切り、同サイズの黒色プラスチック板に貼り付け、両面テープで同サイズの透明ITシートに貼り付けて使用)と②ホリバーを使用した。温室メロン栽培施設(静岡県浜松市、生産者圃場)の栽培ベッド端に、2種トラップ間を25cm離して1対とし、左右を入れ替えて施設内中央の3ベッドに設置、2回の設置期間(2018年5月11~18日(7日間)、同5月18~24日(6日間))ごとにトラップの左右を入れ替えた。回収トラップを実体顕微鏡下で観察し、誘殺アザミウマ数を調査した。その結果、いずれのトラップでも誘殺されたアザミウマはThrips属で、一部プレパラート標本にして確認したところ全てミナミキイロアザミウマであった。コバルトグリーンの誘殺数はホリバーの約3.5倍であった。

2 ネギアザミウマに対するコバルトグリーン粘着トラップの誘引性(試験2)

トラップは試験1と同じく①コバルトグリーン、②ホリバーを使用して、プランター植えネギを配置した施設内で、ネギアザミウマの誘殺数を2018年7月5~9日、同9~13日(各4日間)に調査した。その結果、いずれのトラップでも誘殺されたアザミウマはThrips属で、一部をプレパラート標本にして確認したところ全てネギアザミウマであった。コバルトグリーンに誘殺されたアザミウマ数は、ホリバーの10分の1以下で有意に少なく、コバルトグリーンはネギアザミウマの誘殺には適さないことが明らかとなった。

Sticky trap color for efficient attraction to melon thrips, *Thrips palmi* (Karny)

Makoto Doi, Haruki Katayama and Chiharu Saito

Shizuoka Prefectural Research Institute of Agriculture and Forestry